

電波時計 取扱説明書
(デジタル掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「使用上のご注意」を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

1 電波を受信して時刻を合わせる

※図は操作説明用ですので実際のものと異なることがあります。

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えたりすることがあります。

強制受信ボタン

時刻合わせ 12/24H切替 戻る 進む

受信できないとき使用

受信できないとき使用

12/24H切替ボタン

電池ふたを取り外し、単3形アルカリ乾電池（推奨）を4個入れたから電池ふたを取り付ける。
※②を間違えると、電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**（手動での時刻合わせ）**をお読みください。

【受信の流れと表示】
（リセットボタンを押した直後）

28:88:88

受信マーク（受信中点滅）

12:00:00

※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2012年1月1日、午前12:00に設定されます。

電波の受信しやすい際際などでご使用ください。

①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

②リセットボタンを爪楊枝などで押すと受信マークが点滅し受信を開始します

③20分経過したら受信結果を確認する
受信に要する時間は、最長で約20分です。
受信マークが点灯したら受信成功です。
※【受信の流れと表示】参照

④受信中はボタンなどに触れないでください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）
受信できない 受信しやすい

チェック
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

受信に成功するときの表示例

10:37:00

受信マークは受信成功後、24～25時間点灯

受信に失敗したときの表示例

12:20:00

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかつたり、誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える（受信をやり直す）
電波の受信しやすい窓やわ、取扱説明書の日本地図を参考にして送信所になるべく時計の正面または裏面を向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

手動での時刻合わせ

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつけます。

(2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。

●進むまたは戻るボタンを押してつづけて早送りまたは早戻しになります。

●時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをして、自動受信を行い、受信に成功すると日付、時刻を修正します。

※④電波受信機能ON/OFF操作参照

※約30秒間ボタン操作をしないとき、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。

※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

●時刻は12/24時間の表示がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。

●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用するときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。

標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。

標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

④ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。

○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

受信機能ON（有効にして受信を開始する）
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押して離すと受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

⑤ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して時刻を表示します。

○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2012年1月1日午前12:00に初期化されます。

電波受信機能がONのときは受信を開始します。

2 時計の設置

掛ける 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具（木ねじ）に確実に掛かっていることを確認してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドア開閉時の振動などが伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図の通り、壁面にしっかり木ねじ込んで固定してください。

13mm

木質の厚い壁面

壁掛け穴

引っかかっている

引っかかっていない

石こうボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

取り付け方 取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

引っかかっている

引っかかっていない

取付金具 タイプB

クギ

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

石こうボードの壁面

○壁の材質、取り付け方法を確認の上でご使用ください。

○付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。

○取付金具は水平に時刻が傾かないようにしてください。

○クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。

○取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

置く

置時計としてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

※掛けて使用するときはスタンドをきっちりと収納してください。

スタンドの開閉は、左右のPULL(引く)と表示してあるところを操作してください。

3 表示の切り替え

時刻合わせ 12/24H切替 戻る 進む

12/24H切替ボタン

12 午後表示 (午前/午後表示付)

00:00:00 24 午後表示 (00:00:00～23:59:59)

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

●電波の受信中および現在時刻の設定中は、表示を切り替えることはできません。

六曜の日

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。

※六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。

※六曜は、2030年以降は表示されません。

4 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

電池を交換したときは、必ずリセットボタンを押してください。

◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いているときも3年に1回定期的に交換する。

●古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。

●電池に表示されている使用推奨期限が3年以上のものを使用する。例えば、2020年10月に交換するときは10-2023（月・年）より先の表示があるものを使用してください。

●電池の⊕⊖を逆に入れない。

温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 [HHH] 50℃を超える高温 [LLL] -9.9℃未満の低温

湿度 [HH] 95%を超える多湿 [LL] 20%未満 [- -] 測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

屋外、温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は設置場所により変わります

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところは違いがでます。

※本製品は室内用です。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

※測定した温度・湿度を証明または商取引に使用することはできません。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**リセット**を押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

●お住まいの地区自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

時間精度 ▶電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒

▶電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクオーツ精度)

使用温度範囲 -10～+50℃ 液晶表示可読温度範囲は0～40℃ ※結露しないこと

推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 4個

電池寿命 約3年

標準電波 標準電波受信による時刻修正

受信回数 福島局/九州局自動選択

受信周波数 自動受信周波数 8回/1 時から4時、13時から16時各時間帯の16分40秒に受信開始

受信ON/OFF あり

表示方式 LCD(液晶)

時刻表示形式 12時間/24時間制切り替え

カレンダー 西暦2012～2099年対応 六曜は2030年まで対応

温度表示 -9.9～+50℃ 温度精度±2℃

湿度表示 20～95% 湿度精度±10% (温度が5～50℃の範囲のとき)

防塵・防滴機能 なし

※液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。

※液晶は低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなる場合があります。また、高温では表示が薄くなったり、ムラに見えることがあります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4個、保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る

●傷をつけない。 ●分解しない。

●ショートさせない。 ●充電しない。

●加熱しない。 ●火の中に入れない。

●梱包用のポリ袋に入れられない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚に当たったら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アレルギー乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

液漏れから漏れた液に素手でさわらない

破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんできれいに洗い流してください。

下記の様な場所では使わない

性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器からの風が当たる所。

●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。

●火気のそば。

●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

●プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期限内に使う。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●時計が動いていても定期的に交換する。

●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

●幼児の手が届かぬ所に置く。

●種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。

(例:PANASONIC EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※(EVOLTA)は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

●買い置きした電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(https://jly.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、建物影響等、時間帯(昼/夜)活動)などは地形や建物の影響などにより、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。